

平成31年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



平成30年11月5日

上場会社名 株式会社 ミューチュアル
 コード番号 2773 URL <http://www.mutual.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務部長
 四半期報告書提出予定日 平成30年11月9日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 (氏名) 榎本 洋
 (氏名) 吉野 尊文
 TEL 06-6315-8613

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第2四半期の連結業績(平成30年4月1日～平成30年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第2四半期	4,432	21.6	282	—	321	723.4	154	—
30年3月期第2四半期	3,644	△27.6	7	△96.9	38	△82.6	6	△95.2

(注) 包括利益 31年3月期第2四半期 206百万円 (47.6%) 30年3月期第2四半期 139百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第2四半期	23.89	—
30年3月期第2四半期	0.98	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
31年3月期第2四半期	14,222	8,884	60.4	1,331.92
30年3月期	13,331	8,846	64.5	1,333.77

(参考) 自己資本 31年3月期第2四半期 8,593百万円 30年3月期 8,605百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期	—	0.00	—	25.00	25.00
31年3月期	—	0.00	—	—	—
31年3月期(予想)	—	—	—	30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成31年 3月期の連結業績予想(平成30年 4月 1日～平成31年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,800	29.3	896	142.5	903	91.1	524	133.7	81.26

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	31年3月期2Q	7,620,320 株	30年3月期	7,620,320 株
② 期末自己株式数	31年3月期2Q	1,168,413 株	30年3月期	1,168,393 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	31年3月期2Q	6,451,921 株	30年3月期2Q	6,451,975 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、堅調な企業業績を背景に雇用・所得環境の改善、設備投資の増加が見られるなど、緩やかな回復基調で推移して参りました。一方、海外経済におきましては米中の貿易摩擦激化に加え、急速な原油高や中国経済の減速など景気の先行きは不透明な状況が続いております。

このような状況下、当社グループでは人員を増強し専門営業部隊の充実を図るとともに、オリジナル機のラインナップを増やす等、受注拡大強化に注力して参りました。また、製造部門におきましては、生産性向上や顧客の特殊な仕様・要求に応えるべく技術者全員に技能検定試験を推進する等、人材育成や新技術習得にも積極的に取り組んで参りました。売上高につきましては、一部大口案件の検収が第3四半期以降にずれ込みましたが、概ね計画通りとなり前年同期比788百万円増収となりました。損益面におきましても、増収に加え売上高総利益率が原価低減努力により前年同期比2.2ポイント改善し、売上総利益が292百万円増加した結果、営業利益以下の各段階利益も増益となりました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は4,432百万円（前年同期比21.6%増）、売上総利益は1,204百万円（同32.1%増）、営業利益は282百万円（前年同期は7百万円）、経常利益は321百万円（同723.4%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は154百万円（前年同期は6百万円）となりました。

報告セグメントに基づく各事業別の概況は以下の通りであります。

①産業用機械事業

当セグメントにおきましては、売上高全体では4,148百万円（前年同期比23.4%増）でありました。このうち、充填機が1,015百万円（同44.0%増）、改造・調整・修理が972百万円（同66.7%増）、部品が698百万円（同0.7%増）、一連ラインが497百万円（同116.2%増）、製剤機が83百万円（同12.6%増）と好調に推移いたしました。包装機は607百万円（同23.2%減）、検査装置は273百万円（同4.4%減）となりました。

②工業用ダイヤモンド事業

当セグメントにおきましては、売上高284百万円（前年同期比15.6%増）となりました。内訳では、人造ダイヤモンド191百万円（同25.0%増）、原石44百万円（同7.5%減）、パウダー41百万円（同4.4%増）、機械類7百万円（同32.9%増）となっております。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

（資産）

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末比891百万円増加し、14,222百万円となりました。これは主として電子記録債権が160百万円減少する一方で、仕掛品が593百万円、現金及び預金が403百万円それぞれ増加したことによるものです。

（負債）

当第2四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末比853百万円増加し、5,337百万円となりました。これは主として短期借入金が38百万円減少する一方で、前受金が672百万円、支払手形及び買掛金が251百万円それぞれ増加したことによるものです。

（純資産）

当第2四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末比37百万円増加し、8,884百万円となりました。これは主として親会社株主に帰属する四半期純利益が154百万円ありましたが、配当金の支払いが161百万円あったことで利益剰余金が7百万円減少する一方で、非支配株主持分が49百万円増加したことによるものです。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は4,127百万円となり、前連結会計年度末より403百万円増加となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果、獲得した資金は598百万円（前年同期比51.5%減）となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益347百万円に加え、前受金の増加672百万円、仕入債務の増加235百万円、売上債権の減少102百万円等により増加したものの、たな卸資産の増加598百万円、前渡金の増加94百万円等により減少したものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果、獲得した資金は12百万円（前年同期比78.7%減）となりました。これは主に定期預金の払戻による収入75百万円等により増加したものの、定期預金の預入による支出73百万円等により減少したものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果、使用した資金は207百万円（前年同期比11.8%増）となりました。これは主に配当金の支払額158百万円、短期借入金の減少38百万円等により減少したものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の景気見通しとしては、国内では、薬価引下げによる設備投資計画の見直し、海外では米中貿易摩擦の影響、新興国経済の減速等不安定要素が多く、経済見通しが極めて不透明でありますので、現状では平成31年3月期通期連結業績予想につきましては、前回発表（平成30年5月11日公表「平成30年3月期 決算短信」）から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,807,692	4,211,064
受取手形及び売掛金	2,672,041	2,730,288
電子記録債権	513,728	353,061
有価証券	52,290	50,290
商品及び製品	58,035	55,969
仕掛品	1,677,628	2,271,320
原材料	74,950	79,642
前渡金	562,042	656,234
その他	338,368	400,175
貸倒引当金	△3,033	△2,292
流動資産合計	9,753,743	10,805,753
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	544,706	525,591
土地	666,563	571,012
その他(純額)	161,101	139,030
有形固定資産合計	1,372,371	1,235,634
無形固定資産		
その他	29,041	29,100
無形固定資産合計	29,041	29,100
投資その他の資産		
投資有価証券	1,619,070	1,620,411
繰延税金資産	24,592	19,618
長期預金	1,500	—
その他	531,320	512,169
貸倒引当金	△259	△184
投資その他の資産合計	2,176,223	2,152,014
固定資産合計	3,577,636	3,416,749
資産合計	13,331,380	14,222,503

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,729,487	1,981,012
電子記録債務	814,580	797,329
短期借入金	68,310	30,000
1年内返済予定の長期借入金	3,075	1,413
未払法人税等	96,932	120,702
前受金	1,133,343	1,805,889
賞与引当金	100,206	101,941
その他	268,759	221,750
流動負債合計	4,214,695	5,060,037
固定負債		
役員退職慰労引当金	72,740	74,840
退職給付に係る負債	24,957	15,653
繰延税金負債	140,099	157,146
その他	31,999	30,256
固定負債合計	269,797	277,896
負債合計	4,484,492	5,337,934
純資産の部		
株主資本		
資本金	669,700	669,700
資本剰余金	725,702	725,702
利益剰余金	7,339,396	7,332,252
自己株式	△769,536	△769,556
株主資本合計	7,965,262	7,958,098
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	645,394	635,677
繰延ヘッジ損益	△4,453	△3,947
為替換算調整勘定	△818	3,589
その他の包括利益累計額合計	640,121	635,319
非支配株主持分	241,503	291,150
純資産合計	8,846,887	8,884,568
負債純資産合計	13,331,380	14,222,503

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
売上高	3,644,339	4,432,765
売上原価	2,732,731	3,228,668
売上総利益	911,607	1,204,096
販売費及び一般管理費	904,331	921,487
営業利益	7,275	282,609
営業外収益		
受取利息	5,813	6,340
受取配当金	13,400	13,366
為替差益	4,589	1,611
助成金収入	—	9,459
その他	9,778	8,782
営業外収益合計	33,582	39,560
営業外費用		
支払利息	1,072	766
その他	786	290
営業外費用合計	1,859	1,057
経常利益	38,998	321,112
特別利益		
固定資産売却益	7,743	26,580
特別利益合計	7,743	26,580
税金等調整前四半期純利益	46,741	347,692
法人税、住民税及び事業税	17,651	115,185
法人税等調整額	808	21,503
法人税等合計	18,460	136,689
四半期純利益	28,281	211,003
非支配株主に帰属する四半期純利益	21,960	56,849
親会社株主に帰属する四半期純利益	6,321	154,154

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成30年4月1日 至 平成30年9月30日)
四半期純利益	28,281	211,003
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	108,595	△9,716
繰延ヘッジ損益	2,967	506
為替換算調整勘定	△170	4,408
その他の包括利益合計	111,393	△4,801
四半期包括利益	139,674	206,201
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	115,572	149,352
非支配株主に係る四半期包括利益	24,102	56,849

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成30年4月1日 至 平成30年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	46,741	347,692
減価償却費	46,746	44,055
有形固定資産売却損益 (△は益)	△7,743	△26,580
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△2,472	△816
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△13,872	1,734
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△820	△9,262
受取利息及び受取配当金	△19,214	△19,707
支払利息	1,072	766
売上債権の増減額 (△は増加)	2,354,536	102,329
前受金の増減額 (△は減少)	141,017	672,916
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△395,444	△598,641
仕入債務の増減額 (△は減少)	△730,336	235,758
前渡金の増減額 (△は増加)	24,375	△94,231
その他	△217,439	20,386
小計	1,227,147	676,402
利息及び配当金の受取額	15,492	15,352
利息の支払額	△1,072	△766
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△6,671	△92,679
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,234,896	598,307
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△70,700	△73,700
定期預金の払戻による収入	172,500	75,500
有価証券の取得による支出	△1,341	△1,281
有形固定資産の取得による支出	△49,866	△1,491
投資有価証券の取得による支出	△6,073	△10,298
その他	16,531	24,250
投資活動によるキャッシュ・フロー	61,050	12,978
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△16,760	△38,310
長期借入金の返済による支出	△1,662	△1,662
配当金の支払額	△159,881	△158,865
非支配株主への配当金の支払額	△6,672	△7,202
その他	△616	△1,540
財務活動によるキャッシュ・フロー	△185,591	△207,580
現金及び現金同等物に係る換算差額	51	△33
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,110,405	403,672
現金及び現金同等物の期首残高	3,310,113	3,723,792
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,420,519	4,127,464

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	産業用機械 事業	工業用ダイ ヤモンド事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	3,362,897	246,066	3,608,963	35,375	3,644,339	—	3,644,339
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	3,362,897	246,066	3,608,963	35,375	3,644,339	—	3,644,339
セグメント利益	261,815	23,506	285,322	5,440	290,762	△283,487	7,275

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、坐薬用包装資材等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△283,487千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用です。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の総務・経理部門等の管理部門に係る費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	産業用機械事業	工業用ダイ ヤモンド事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	4,148,312	284,453	4,432,765	—	4,432,765
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	4,148,312	284,453	4,432,765	—	4,432,765
セグメント利益	548,290	35,867	584,158	△301,549	282,609

(注) 1. セグメント利益の調整額△301,549千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用です。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の総務・経理部門等の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。